



介護保険アラカルト

要介護認定について

要介護認定申請を受けた町では、調査員が家庭を訪問して、介護を必要とする人の身体状態を調査します。そして、保健・医療・福祉の専門家たちからなる介護認定審査会で要介護認定

を行います。そこで自立から要支援、要介護1〜5に判定されます。それぞれ、1か月のサービスを利用できる金額は、左表のとおりとなっていますが、これは介護保険で受けられるサービスの上限額となっています。なお、自立と判定された人は介護保険のサービスを受けることができません。

要介護度	身体の状態	支給限度額
要支援	日常生活の能力は基本的にはあるが、入浴などに一部介助が必要	6万円
要介護1	立ち上がりが自力では困難。排泄、入浴など一部介助が必要	17万円
要介護2	起き上がりが自力では困難。排泄、入浴などで一部または全部の介助が必要	20万円
要介護3	起き上がり、寝返りが自力ではできない。排泄、入浴、衣服の着脱などで全部の介助が必要	26万円
要介護4	排泄、入浴、衣服の着脱など多くの行為で全面的介助が必要	31万円
要介護5	生活全般について全面的介助が必要	35万円

※金額は1997年のものです。
原則として現金の給付は行わず、現物給付となります。
支給額の1割を自己負担します。

耳よりな情報

広域情報ネットワーク

<白根市>

白根大風合戦

中ノ口川（川幅約80m）の両岸、東軍（白根市）と西軍（味方村）から24畳の大風を揚げ、空中で絡ませて川に落とし、観衆も加わって引き合い、相手の風網を切るという勇壮な世界一の大風合戦です。300有余年の歴史を持つ伝統行事です。

- ▶日時 6月3日（木）～7日（月）
午後1時～6時（7日は午後5時まで）
- ▶会場 中ノ口川堤防（風見橋～白根橋間）
- ▶問い合わせ 白根市役所商工観光課 ☎373-2111

<小須戸町>

花とみどりのシンボルゾーン

「花とみどりのシンボルゾーン」には、新潟県産の杉材だけで造られた本格的なログハウス「花とみどり館」、町特産の花と緑がいつもそろっている展示即売場「花ステーション」があり、年中無休で大駐車場完備。

5月22日（土）から6月13日（日）までは、さつきまつりが開催されるほか、たくさんイベントを予定しております。いつでもお気軽においでください。

- ▶問い合わせ 小須戸町役場 産業課 ☎0250-38-3111

～資源ごみ排出時のお願い～

毎月2回の資源ごみ収集日には、次のことを守って、ごみを出してください。

- 朝6時から8時の間に出してください。
- 指定のコンテナに、指定のごみを入れてください。
- 資源ごみ以外のごみを出さないでください。
- 古紙類は種類別にひもで十文字にしぼって出してください。良質な再生紙を作るため、雑誌とチラシと一緒に、新聞を別にして分けて出してください。
- ビールびん、一升びんなど、再利用びんは、なるべく販売店で引き取ってもらってください。
- ふたの付いたままのびんや、中身の入ったままの缶をださないでください。

各ステーションでご協力いただいている指導員の方々の負担にならないよう、以上の点に気を付けて、ごみの減量、リサイクルにご協力をお願いします。

3月資源ごみ収集実績

空きびん	7.0t
空き缶	4.6t
古紙	28.1t
合計	39.7t

5月資源ごみ収集日

地区	収集日
横越・川根谷内	11日（火）
	25日（火）
その他の地区	13日（木）
	27日（木）

ふる里物語 町史編さんだより ⑤4

横越の民話・伝説に

あなたの描いた挿絵を添えてみませんか？

横越町教育委員会では、今年度発行予定の「横越町史・別冊資料編」（主に民話・伝説を収録）の挿絵作成協力者を募集しています。

採用者には今年秋頃までに、数十枚の挿絵作成を依頼（相応の謝礼あり）します。

①応募方法

次の民話についての挿絵1枚を、色紙程度の大きさの用紙

猿の婿どん

とんと昔があったてん。
あるとき、じじが畑の草取りしてて、
「はんね（本当に）あっちゃえて（暑くて）、あっちゃえて、せつね（ぜ）
と、ひとらごとをうたったれば、
そこへ猿が来て、
「じじさ、じじさ、こんげあっちゃえてがね草取りなして、難儀し

ていねで、おれが草取ればじょうさんね（簡単だ）すけ、おれがしてくるわの」と言った。
「そうらけ、そうらけ、うな草取ってくれるけ。おれに三人の娘がいるが、一人くれるすけ、うな草取ってくれや」と言った。
「そうらけ、そうらけ、うな草取

ツツワツと草取ってしよもうたてん。

そしてしばらく経って、猿がじじの家に嫁もらいに来たど。

「うな、猿んどけえ嫁に行ってくれや」と言ったらば、

「そんげばか猿のとこ、だが行くと言うたてん。」

一番目の娘に言うても、やっぱしそのとおりだてん。三番目の娘が親孝行なんてん。

「そんじや、おれ、猿のとこに行ぐわの」と言うたてん。そして、猿と一緒にになったど。

イチゲンに猿と娘が実家へ行くことになり、猿が、

「もあついで、どつやつて持つて行がんだ」と聞いたれば、

「重箱に詰めると、重くつせし、白でも担いで行がせや」と言うたてん。

猿は、仕方ね白担いで行ったてん。それれば、きれいな桜の花が咲いている時期で、娘が、

「あの花、取ってくらせや」と言うと、

「あんげとこ白担いで登らんねすけ、白下ろして登るわや」と言うと、

「そんげしたら、もちが土くつそ

「これか」「もう一校上」

と、猿が落ちるまで登らしたてん。

「この花か」と言うと、

「まっと上」

勲六等瑞宝章受章 故市村仁蔵さん

このたび、故市村仁蔵さん（横越中）が勲六等瑞宝章を受賞されました。

市村さんは、昭和3年に郵便局に入り、請負局時代、そして戦中戦後の混乱期から退職されるまで44年間、郵政事業に貢献されました。

3億円

5月17日（月）～6月4日（金）

（発売総額1,110億円・37ユニオの場合）

1等賞	5,000万円	74名
2等賞	1,000万円	185名
3等賞	500万円	740名
4等賞	100万円	1,480名
5等賞	50万円	2,960名
6等賞	1万円	74,000名
7等賞	500円	3,700,000名

抽せん日：6月15日（火）

1枚300円

俳句

句題

春 暁 春 暁

石 嶽 玉

猫 の 恋

（公募作品 高句句）

みがかれし牛の脊越へしシャボン玉
石 嶽 玉 吹いて青空誘い出す
まだつづく闇の奥なる猫の恋
春 暁 や 僧 百 人 の 経 の 中
春 暁 の 鐘 や 比 叡 に 寺 いくつ
ガ ラ ス 戸 に 闇 の きて いる 猫 の 恋
シ ャ ボ ン 玉 一 つ 大 き く 風 に 乗 る
春 暁 や 阿 賀 に 一 つ の 大 水 門
春 暁 や 水 車 の こ ほ す 水 光 る
春 暁 の 始 発 電 車 に 行 商 婦

石 井 泉 秋
佐 藤 新 雪
今 井 洋
谷 邊 一
今 井 野 九
今 井 武 十
今 井 夫 子
波 谷 天 花
坪 谷 川 花
坪 谷 川 花